

あいご

2020
No.89

令和2年10月1日
鹿児島市あいご会連合会



あいご会宣言

- ① 子どもの幸せを願うのは、自然の親心である。
- ② 隣近所仲よく助け合うのは、市民生活の根本である。
- ③ 次代になう子どもたちを健全に育てるのは、市民の連帯責任である。

あいご会とは

- ① 子どものあるなしにかかわらず、全市民がすすんで協力し、心身ともに健全な子どもを育てる組織である。
- ② 子ども会の育成母体である。

市民憲章

わたしたち鹿児島市民は、みんな助け合って、子どもたちの幸福を守りましょう。
(昭和36年5月5日)

さつまっ子育成事業への応募を

ねらい

山・川・海・田畑等を活用した自然体験活動、少年自然の家・宮川野外活動センター・学校等を利用した宿泊体験、伝統芸能継承活動、ボランティア活動など特色ある活動をとおして、心身ともにたくましい「さつまっ子」を育てる事業に対して鹿児島市あいご会連合会から助成金を交付するものです。

助成額 子ども一人当たり、1日 500円 (上限30名まで)
宿泊体験の場合 一人 1,000円

今年度の申請状況

13校区 (水鉄砲合戦、コロナに負けない、子ども飾りなど) 校区あいご会、単位あいご会、どちらでもかまいません。
※ 今年度の事業予算はまだ残っていますので、応募を受け付けています。予算に達し次第、終了となります。



加入しましょう!

鹿児島市あいご会連合会
安全保険

分担金 **110円** 年間一人です

保険料100円・制度維持費10円

加入対象者年齢制限なし

補償の対象

- 安全保険加入のあいご会員
- 指導者の管理下内におけるあいご会活動で発生した傷害事故

補償内容

- 死亡・後遺障害………300万円
- 入院 1日………3,000円
- 通院 1日………2,000円
- ・180日以内の90日が限度
- ※保険金支払いの最終判断は保険会社となります。

※補償対象外となる活動もありますので、詳しくはあいご会コーディネーターにお尋ねください。

※この保険は加入状況によって補償内容が進化する保険です。呼びかけて加入数を増やしましょう。

加入者数 **46,670人**
(8月末現在)

保険代理店：アライアンス社 契約保険会社：東京海上日動

問い合わせ・ご意見送付先

〒892-0816
鹿児島市山下町5-9
鹿児島市あいご会連合会
TEL・FAX 099-226-6604
E-mail aigo@po3.synapse.ne.jp



(表紙) 史上最大の水鉄砲合戦 (八幡校区)

あとかぎ

今年度は新型コロナウイルスが全国で流行し、鹿児島でも多くの感染者を出しました。各校区あいご会や単位あいご会では、予定していた活動を中止したり延期したりして、対応に苦慮されたことかと思えます。例年、特色ある活動をあいご会新聞で紹介し、それぞれのあいご会の活性化につなげてもらっています。しかし、上半期の行事がなかなか実施されず紹介する記事が掲載できない状況です。そのため、あいご会に関わりのある方々にあいご会活動の思い出や抱負等を寄せてもらいました。これからコロナウイルス感染がどうなるかわかりませんが、何らかの形であいご会活動が展開できることを期待しています。

コロナ禍の中でのあいご会活動

新型コロナウイルス感染は都会だけでなく、郷土鹿児島でも感染者が出ております。そのため、子どもたちが楽しみにしていた夏祭りや花火大会などが軒並み中止となりました。各单位あいご会も、夏休みに予定していたラジオ体操や体験活動などができない状況でした。

そんな中、西田校区あいご会では「コロナに負けない」という活動を行いました。この活動は新型コロナウイルス感染で大変な思いをしている地域の商店等に元気を届けようということで始まりました。この活動を紹介します。

活動名 「コロナウイルスに負けない」

目的

新型コロナウイルス感染で休業を余儀なくされた校区の飲食店等を元気づける。

内容

紙製のキット「メッセージ犬」を子どもたちが作成し、地域の飲食店や病院等に届け、元気をだしてもらおう。

方法

- 1 子ども役員会での活動の紹介 (役員45人) (趣旨、配りたい所の選定)
- 2 メッセージ犬の作成 (各家庭で)
- 3 メッセージ犬の提出
- 4 各店舗等への配布 (子ども代表3名と保護者で店舗に届ける。あとは保護者だけで届ける。)
- 5 記念撮影

コロナがはやっているのに見守ってくださってありがとうございます。また、おいしいからあげをつくってください。



代表の3名が届けました

このようなメッセージ犬をいただき感動です。従業員やお客さんが見える場所に展示させていただきます。コロナに負けないで地域の皆様に愛されるようこれからもがんばっていきまいたい。
(店長さんの感想)



その他の活動事例

「絵手紙を送って、高齢者に元気を届けよう!」

新型コロナウイルス感染のため敬老会などが実施されていません。地域のお年寄りに子どもたちが絵手紙を書き、それを届ける活動。

感染防止のためには人が集まらないことが大事です。だからと言って、子どもたちから活動をすべて奪うことはどうでしょうか。方法を工夫すると何らかの活動はできるものです。こういう機会だからこそ、知恵をしばり共に考えていきたいものです。

長い間、本当にご苦労さまでした

あいご会 ありがとうございます

和田校区は学校で鬼火焚きができます。そんな和田校区で生活できて良かったです。



あいご会の役員をさせてもらってありがたいです。30年という月日、とても楽しい毎日でした。地域の皆様のおかげで、やればできることがたくさんありました。自分はストレスなしで行動していたので、周りにはいろいろ迷惑をかけていたのかな。昔のように、おせっかいなばあさんはいればいいのになあとつくづく思います。

子どもたちは大人のしていることをきちんと見ていますよ。親の方々は子育て中の全部が大変じゃないと思います。しかし、孫を持つようになると、あの頃が懐かしく楽しかったと思いがちです。

「可愛くば 二つ叱って 三つ誉めて 五つ教えて 善き人にせよ」
皆様と共に今の時代を生きて良かった。本当にありがとうございます。

前和田校区あいご会長 上田タカミ
(和田校区のあいご会長を29年、
連合会副会長を2年間務めていただきました)

あいご会活動の思い出



七年前、町内会連合会の役員会で校区あいご会長に決まりました。私自身、あいご会の役員は40年ぐらい前に単位あいご会の体育部長の役を引き受けて以来のこと、最初戸惑いました。翌年の平成26年度は伊敷小学校が伊敷ブロックあいごスポーツ大会の当番校になりました。当時の学校あいご主事ならびに有志あいご主事（現あいご会コーディネーター）、単位あいご会の役員の皆様、県ドッジボール協会の方々のご協力をいただき、子どもたちをはじめ関係した皆さんに喜んでもらえるあいごスポーツ大会ができたと思います。

また、平成30年度は伊敷ブロックのあいご会子ども大会の担当校になりました。その大会も成功裏に終えることができたと思っております。これもそれぞれの役員の方々が協力してくださったお陰だと感謝しております。

校区あいご会長の役は終わりましたが、今後は校区コミュニティ協議会の役員として、また、児童通学保護員として校区の宝である子どもたちに携わっていきます。

前伊敷校区あいご会長 加治屋 秋夫
(伊敷校区のあいご会長を7年間務めていただきました)

あいご会活動への思い



地域の宝、国の宝と言われる子どもたちをコロナ禍の中でどのように活動させることができるのか。か。

「郷土でふれあい 夢を育むあいご会」の活動には、あまりにも厳しい状況にあります。「ふれあう」ことが厳しい中では、何もしないでよいのでしょうか。何かできることはないか探してみようではありませんか。思い出す言葉に、シドニーオリンピックで金メダルに輝いた高橋尚子さんが残した「何も咲かない冬の日は、下へ下へと根を伸ばせ。いつか大きな花が咲く」があります。花を咲かせにくい今の時期に、子どもたちを見守り育てるのはどうすればよいのでしょうか。皆さんそれぞれのお家庭で工夫され、お子さんたちと色々な体験をされておられると思います。そうです。できる範囲の中で活動をまずは家庭の中で実践していくことが子どもたちの夢へとつながるのです。

まずは、兄弟姉妹で、そして隣のお子さん方という具合に、三密に気をつけて、やれることから見つけてやればよいのではないのでしょうか。そして、そのことを他の皆さんに情報発信して知らせる。情報交換をすれば、できる活動がうんと広がると思います。いつの日か、従前のあいご会活動ができるのを待ちたいと思います。それまで頑張りましょう。

前あいご会連合会事務局長 内匠 生樹
(事務局長を六年間務めていただきました)

ふるさと桜島のために

桜峰校区は鹿児島県のシンボルである桜島に位置しています。私は3年前に帰鹿しました。それまでは東京に45年間居住していました。今回母校である桜峰小学校のあいご会長になりとても光栄です。また、桜峰小学校の学校主事として勤務しております。重ね重ねありがとうございます。東京にいるときは子どもたちと接することは全くありません。四人の子どもがいますが、全員が成人しており離れ離れになっています。そのため、子どもや孫たちとも会う機会さえありません。恥ずかしながらあいご会の存在すら無知でした。しかしながら、東京で生活しているとき、ひとときもふるさと鹿児島を忘れたことはありませんでした。他の県民の方々に、ふるさと桜島のことを話す、全員が知っていました。そんな桜島で活躍できることを誇りに思います。仕事場でも子どもたちにも接する場が多くなりました。私たちが小さい頃と違って子どもたちの数は極端に減っています。しかし、質の良い学校生活、家庭生活を送っているのが羨ましいくらいです。



「鹿児島県の今と未来」をモットーに、大切な子どもたちのため、自分に何ができるか常に考え、諸先輩方のご指導を賜りながら頑張っていきたいと思っております。

桜峰校区あいご会長 宮元春清

初めてのあいご会



校区あいご会のことを知ったのは今年の四月、輪番制により自分が今年度の会長に決まった時でした。地域あいご会の活動は知っていましたが、何が変わるのだろう。校区あいご会はどんなことをするのか。清水校区の場合、校区あいご会の三役をするとPTAのポイントが加算される（これはありがたい）。「また、同じ校区内でも地域によって活動内容が異なること」など知らないことばかり。とにかく「？」だらけでスタートしました。

あいご会連合会や前年度の会長さんに何度も電話で質問し、その都度皆さんが優しく丁寧に教えてくださいました。また、あいご会には幅広い年齢層の方が所属し、男性の方が多いことも初めて知りました。（PTAの雰囲気も想像しておりました）

今年度は新型コロナウイルスの影響で例年通りとはいかず、とにかく活動ができておりません。いつまでこの状態が続くのか分からないので、「できるためのアイデア・工夫・努力」が大事になってくるのではないかと思います。そして、いざ活動開始となった時、子どもも大人も笑顔いっぱい活動ができたなら素敵です。今は厳しい状況ですが、早く平穏な日常に戻り、心に残るような楽しい活動ができることを願うばかりです。

清水校区あいご会長 高橋真紀子

あいご会コーディネーターになって



昨年度からあいご会活動に関わり、今年度はあいご会コーディネーターを務めさせていただきました。いづつまでになりました。吉野校区では、ドッジボール大会や野外活動、兵六物語の紙芝居の発表等の活動をしていきます。昨年を振り返りうれしく思ったことは、あいご会活動に参加している子どもたちが、とても楽しく活動していただくことができました。

このように子どもたちが楽しく活動できているのは、地域のあいご会長や校区有志あいご会コーディネーター、各単位あいご会会長をはじめとした多くの地域の方々の支援があるためです。私は、子どもたちのために、多くの方々が協力してサポートしているあいご会の体制に感銘を受けました。今年度はあいご会コーディネーターとして、子どもたちの活動をサポートする一員であるという自覚をもち、地域と学校をつなぐ架け橋のような存在になれるよう努力して進めたいと思います。コロナ禍で今年度のあいご会活動は計画通り進められないことも多くありますが、このような状況であるからこそ、協力して様々な課題を乗り越えていきたいです。

吉野小あいご会コーディネーター 山内 勇人

新人です。しっかりバトンを引き継いでいきます。